

参考資料 3

国際的動向を踏まえたオープン
サイエンスの推進に関する検討会
(第8回)
平成30年12月27日(木)

第7回 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会

議事概要

1. 日 時：平成30年10月26日（金）10：00～12：00
2. 場 所：中央合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室
3. 出席者：（敬称略）

引原（座長）、喜連川（副座長）、有川、家、小賀坂、高木、林、村山の各構成員、上山総合科学技術・イノベーション会議議員、北本准教授（国立情報学研究所）、絹谷特任研究員（東京大学）、海老沢教授（宇宙科学研究所）、佐藤大臣官房審議官、梅澤参事官、赤池参事官

1. 議事

（1）プレゼンテーション

北本准教授、絹谷特任研究員より、データリポジトリの整備・運用についてプレゼンテーションが行われた。また、海老沢教授から宇宙科学研究所のデータポリシー策定の経緯についてプレゼンテーションが行われた。

（2）主な意見交換等

上記、プレゼンテーションを踏まえた意見交換が行われた。

（データリポジトリの整備・運用について）

○リポジトリの整備・運用を進める際は、リポジトリを運用する立場からの意見に加えて、データを利活用する利用者側の意見も取り入れることが重要である。

○リポジトリへの研究データの搭載を進めるためには、研究者の負担へ配慮することよりも、リポジトリで保管・管理等している研究者のデータの価値が高まるなど、研究者の搭載に対するインセンティブを高めるような仕組みをデザインすることが重要である。

○国際的な認証を得られるようリポジトリの条件を整理することも必要であるが、そのうえで、追加的に取り組む事項について整理し、政府として推奨すべき事項も検討すべきである。

○大学の機関リポジトリについては、概ねうまく展開できている状況であり、データリポジトリの整備を進めていく際には、機関リポジトリの例などを参考に図書館職員等と連携しながら進めていくべきである。

(宇宙科学研究所 (ISAS) のデータポリシー策定の経緯について)

○ISASでは公開データは長期間 (最低30年) 保管し、第三者が用途を制限している一部のデータを除き、営利・非営利目的、複製、送信、加工も含め、出典さえ明示すれば、無償・無条件で利用可能としている。

○ISASのデータポリシーでは、大学が開発した装置を衛星に搭載した場合や国際共同研究を行った際は、共同研究相手方に対し、ISASのデータポリシーを「尊重して対応することを期待」するとしている。

○ISASでは非公開データについては、別途非公開データアーカイブシステムを整備しており、非公開データの担当者、利用範囲、非公開期限などを定め、非公開期限が過ぎたものは公開あるいは廃棄することとしている。

2. その他

○次回は12月から翌年1月での開催予定とする。